

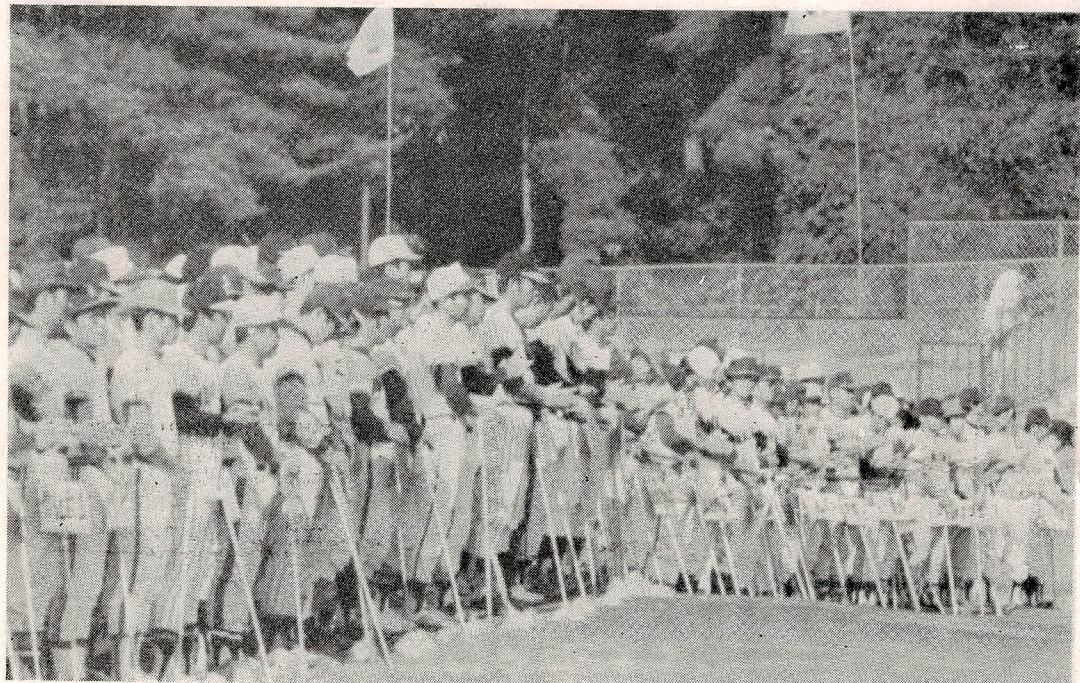
市報 51年 10月 第199号

たかはぎ

発行と編集 高萩市役所市長室・広報広聴係
高萩市本町1-100(電話)3-2111 印刷 藤枝印刷所

高萩市市民憲章

- 自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう
- きまりを守り、明るいまちをつくりましょう
- 礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう
- 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう
- 思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう



スポーツの秋

市長杯野球大会が開幕

高萩市文化祭の行事

「今年は、からだ市長杯を我がチーム」と闘志を胸に秘めて、第4回高萩市長杯争奪軟式野球大会の開会式が、9月26日午前8時高萩市営野球場で行なわれました。今年参加したチームは、昨年より24チーム多い84チームで熱戦がくりひろげられます。

試合会場は、市営野球場、高浜市営グランドA・B、高萩工業高校、秋山中学校、新日本鍛工野球場、大心苑野球場、松丘高校グランドの計8会場で、10月17日までの日曜、祭日を利用した5日間試合が展開されることになります。

84チームが参加した開会式

ママさんバレー

本町チームが優勝

第9回高萩市ママさんバーボール大会が、9月5日市民体育館で開催されました。参加したチームは、10チームで日ごろの練習の成果を發揮して好試合が展開されました。

成績は次のとおりです。

- ①本町チーム、②高浜チーム、
③有明チーム、



○ 11月21日	市民体育館	園菊花
○ 11月20日～24日	中央公民館	美術、写真、人形
○ 11月20日～24日	市民体育館	俳句、書道、華道、編物、川柳、短歌
○ 11月21日～24日	中央公民館	盆栽、臘月
▼発表会		
○ 11月23日	市民体育館	茶道
○ 11月21日	中央公民館	剣舞詩舞、吟詠
○ 11月23日	中央公民館	川柳

上半期

市政の経過と現況を報告

鈴木市長第三回定例市議会で

第3回定例市議会は、9月14日から27日まで、14日間の会期で開かれました。この議会の第1日目、鈴木市長は、昭和51年度の市政経過と現況の報告を行ないましたので、そのあらましを、お知らせいたします。

道路舗装などの工事進む

さらに4,100万円を補正

高萩小改築すべて完了

教育：高萩小学校危険校舎改築

事業は、すべての工事が予定どおり、7月13日に完了しました。
また、高萩中学校危険校舎改築事業第2期工事は、51年・52年の2年継続事業で、危険改築1,000平方メートル、新增築4,199平方メートルの国庫補助をうけましたので、総面積3,024平方メー

トルの管理、特別教室棟の建設に近く着工いたします。
ことばの教室は、9月10日、開級し、今後、特殊教育の充実を図つてまいります。

建設：道路舗装工事は、17路線中5路線について着工いたしております。

また、市道30号線の歩道新設工事は8月19日に着工いたしました。道路改良工事は、市道107号線他3路線につき発注の準備をすすめています。

市民の願いの通り、8月25日に20基設置いたしました。市営住宅は現在、

16戸を設計中です。

谷地川水路の改修は、延長21.9メートルで、8月30日に着工いたしました。

谷地川、および高浜水路の浚渫工事は8月7日完了し、排水機能が高まりました。

谷地川、および高浜水路の浚渫工事は8月7日完了し、排水機能が高まりました。

農林業：米の生産調整を目的とした総合水田利用対策事業は、現地確認を行った結果、155農家260アールとなつております。

畜産振興：阿武隈八溝広域農業開発事業は若栗、下君田、米平、田代の4地区の約370ヘクタールの買収が完了し、土地持込希望もほぼ決定し、現在、権利関係、営農計画等の作業をすすめています。

農業共済損害評価会委員選任

神代 平 上手綱3403
棚谷 立夫 秋山244(新任)

鈴木多喜男 本町1-7(再任)
大和田 信 安良川663

下山田満男 上手綱546
鈴木 忍 下君田854

鈴木 藤雄 横川964
大部 伝七 秋山2038

佐川 輝 上君田1351

応の成果をおさめましたが、近年の乳幼児の発育状況より判断して

2歳児健康診断を県下各市町村にさきがけて、本年度より、毎月1回実施しており、受診率68%に及んでいます。

また、成人病予防対策は、6月に婦人ガン検診、8月に胃の検診を実施し、600名が受診しました。引き続き市内全域において、

近代化および合理化を推進するた

め、目下研究中です。

君田診療所は、毎週1回診療を実施し、月間60~70名の患者の診

第3回（9月）定例会

第3回、定例市議会は、9月14日から27日までの14日間の会期で開かれ、上程された報告2件、議案7件はいずれも可決、承認されました。

○東小学校体育館新築に関する請願

○松岡中学校校舎改築に関する請願

○消防自動車購入に関する請願

○軌道敷維持管理に関する請願

○道路舗装に関する請願

○市営住宅賃貸上げ(大幅)反対に関する請願(高萩)

○秋山小学校校舎改築に関する請願

○赤浜海岸工場排水反対に関する請願

○赤浜田園都市建設事業：生活関連施設の整備と体質の改善を図る

道路1路線については、既に発注し、残り1路線についても準備中です。

赤浜田園都市建設事業：生活関連施設の整備と体質の改善を図る

樺村 甫	中戸川1283
齊藤 春夫	下手綱690
沼田 浩	高萩446
陳情・請願報告	採択
○東小学校体育館新築に関する請願	願
○松岡中学校校舎改築に関する請願	願
○消防自動車購入に関する請願	(上手綱)
○軌道敷維持管理に関する請願	(赤浜)
○道路舗装に関する請願	(肥前町)
○秋山小学校校舎改築に関する請願	願
○赤浜海岸工場排水反対に関する請願	陳情

38年ぶり中国から里帰り 加藤さんの実妹大川ふくさん

大川さんは、昭和13年に旧満州に渡り、17年ごろまで看護婦をしていました。戦後になって消息がわからず実姉の加藤ちゑさん(大和町1の12)が未帰還者として届出をしておりましたが、昨年4月に中国の遼東省遼陽市で中国人と結婚していることがわかり、このたび38年ぶりに里帰りしたものです。

9月9日大川さんと実姉加藤さんは市役所を訪れ市長と面会し「日本へ帰国するとは夢にも思っていませんでした。帰国前10日間日本語の勉強をしました」と白いブラウス、紺のズボンの服装の大川さんは話していました。

大川さんは、6ヶ月間姉の加藤さん宅に滞在することになっています。

日立市折笠町出身の大川ふくさん(56)が9月7日、中国から里帰りしました。

お帰りなさい。ご苦労さまでした。



3万人の広場へ親子づれ5,000人

さる9月5日、高萩市青年会議所では、各種コーナーを設けて親子で楽しんでもらう——と高萩高校で午前10時から「3万人の広場」を開催しました。

会場には、どじようすくい、子ども相撲大会、のど自慢大会、竹細工コーナーなどの各種コーナーを設け、親子づれなど約5,000人が自由に楽しんでいました。

また、この開催には、市消防署、高萩警察署でも協力し、ふだん乗れない消防車やパトカー、白バイに子どもたちを自由にのせ交通安全を呼びかけました。



茨城県商工会連合会主催による珠算検定競技大会が8月22日水戸市で開かれました。

この大会には、県内43商工会から516名が参加し、小学低学年、同高学年、中学校、高校一般の4部門にわかつて競技が行なわれ、高萩チームは、団体、個人ともに優勝しました。

珠算検定競技大会で団体、個人に優勝

銃猟禁止区域に指定

市では、早くから、自然保護、危険防止の上から、花貫ダム周辺の鳥獣保護を考えていた。

県の指導のもとに、着々と準備をかね、これに積極的に協力し

た地元の県獣友会高萩支部の支援があり成功した。——「銃猟禁止区域の指定」である。

「県も公表しているはずだし、十

月一日の免許交付の時、参考書

ある。

本文の冒頭に記した情景が、あ

たり前の自然の姿であろう。

そのとおり、八月下旬のころ、

七羽のカルガモ(大型で、薄あか

つぽい)が、ダムのすぐ近くを、

ゆうゆう、およぐを見た人は

多いはずである。そこに、生きた教材がある。

△9△ 花貫ダムと自然 (D)

ぶじに野鳥が残つた

花貫ダムの湖面に夜明けの色が映えるところ、岸の藪かげで

水鳥が、頭をもち上げて動き始める。

木々で眠っていた水鳥が、一勢に啼き出す。リスも朝のデ

ザートをと、枝づた

いに軽業師を演じるあたりの山々は、

あらたにして、運動の一角をささ

えてゆきたい。

ダムの銃猟禁止は、市内の自然

保護のさきがけとなる大きな意味

をもつ。なぜならば、保護した答

が、あきらかに現れるという教材

を眼の前にしめしてくれるからである。

そのとおり、八月下旬のころ、

七羽のカルガモ(大型で、薄あか

つぽい)が、ダムのすぐ近くを、

ゆうゆう、およぐを見た人は

多いはずである。そこに、生きた教材がある。

第7回「高萩市民号」の募集をしています。

お早めにどうぞ(締切り10月20日)

※臨時列車の一部運転変更により、料金が次のように変更になります。

ました。すでに納入された方には後日お返しいたします。

大人 4,000円、こども 2,500円に。



あつらわく

絵と文 伊藤龍馬

明るい住みよい街づくりは、私たちの願いであり、市民のみなさんと一緒になつて取り組んでいかなければならぬ色々の問題があります。老人問題、青少年問題、心身障害者の問題、母子家庭、低所得世帯の問題、保健衛生の問題等こうしたさまざまな問題に対し県



町内表示板や掲示板も設置

や市がどんなに努力しても手のとどかない谷間ができます。そしてそこにはめぐまれない不幸な人達がいます。これらの問題を県や市の協力を得ながら少しでもよい方向へ進ませるのが社会福祉協議会（略称社協）の仕事です。

社協は民間の自主的な組織で市

ホツトドツク

行政相談の開設

10月 21日

行政相談週間（10月17日から23日まで）に当り、皆さんから相談を受けるため行政相談所を開設します。

相談員は、神長新一さんで行政管理庁長官から委嘱を受け、国や県や市長村などの役所に連絡いたします。

十月は、
穏りの秋。
食欲の秋。
そして、健康の秋。
涼しさを取り戻すと
駅前はまたにぎわつ
てくる。

○ところ 市民相談室
午後1時から3時まで
○とき 10月21日（木）

また毎月第2、第4木曜日には
市民相談室で、行政相談を行つてますのでご利用ください。

いままでご利用ください。

積極的な社協支部活動

内に十二支部があります。市民の福祉増進で明るい街づくりをめざし、地域住民の参加により住みよい地域社会をつくるために支部社協の活動が積極的に行なわれております。

あなたもボランティアに赤い羽根で福祉活動に参加しましょう
10月1日から
共同募金運動

無料の調停相談

11月18日に開催

調停相談会が次の日程で行なわれますので、遠慮なくお出かけください。相談は無料です。

○ところ 市民相談室
午前10時から午後3時
○とき 11月18日（木）

○相談は、金銭貸借、借地、借家、交通事故、法律扶助、相続、結婚、離婚財産分与、扶養など
○相談に応ずるかた
日立調停協会、茨城調停協会連合会の調停委員

たかはぎの歴史

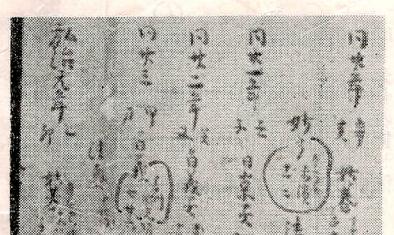
赤浜妙法寺過去帳（二）

文・志田譚一

「暁より急病」などと、かなり詳しい記載になつてくるのが注目される。

この過去帳によると、赤浜妙法寺では応永三十四年（一四二七）から元禄七年（一六九四）までの二六年間に、一四〇五名の死者を扱っている。したがつて一年間の死亡者数は平均五、三人となる過去帳に記された死亡者の居住地を調べてみると、元和以前では小野、赤浜、足洗、石岡、稻村、砥上、浜、浜見付、関本、大津、石滝、荒川、磯原などの地名がみえる。

たとえば「与一太郎娘」「右京母」「永頼父」「日泰の妹にて候」などと記すもの、また特に死亡の理由を記さないのが大部分で、これらは老衰、病死と思われるが、「打死」「焼死」「切腹」「山道にて討たれる也」など変死の場合は特に死亡の理由を簡単に記している。しかし元和、寛永以降になると、たとえば元和八年「妙幼、四月十七日、門前藤七の娘、二歳にて痘疹にて死」「妙興靈、五月廿三日、廿一日産のひまおば明けて相違無からしめしが、廿三日にわかに死去す四十三歳」、寛永元年「妙儀靈、三月廿七日、くりのをば、卅二才にて死、昨日廿六日、



過去帳には、アラ川、赤浜などの地名が記されている（O印の中）

